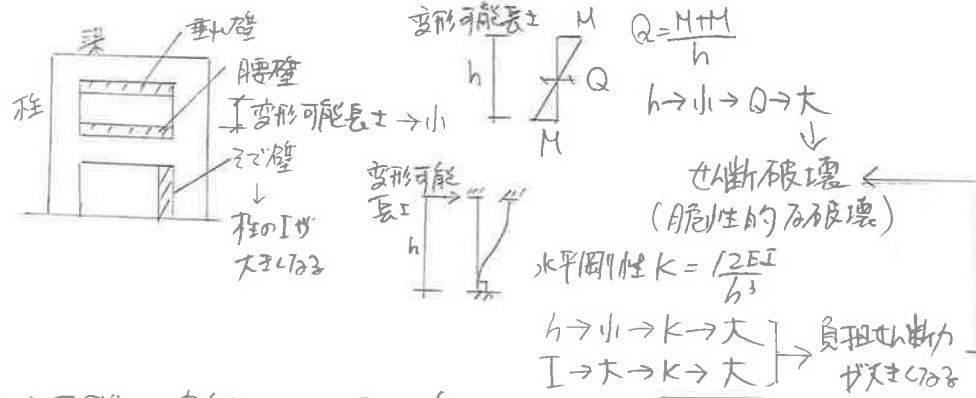


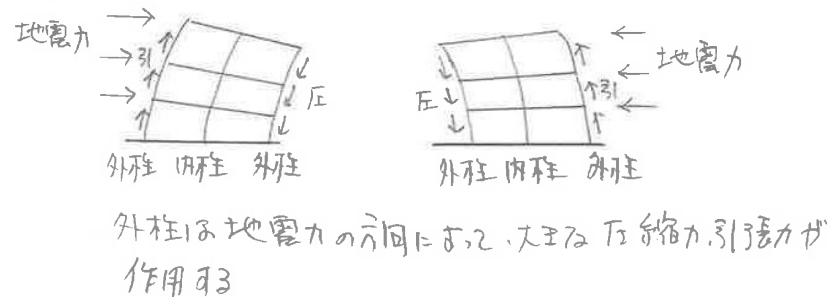
平成26年 NO.25 建築物の耐震設計

1. RC造の腰壁、とび壁付構面の脆性破壊 → 水平剛性が大きく、せん断破壊 する可能性が高くなる
2. 外柱と内柱の軸力変動 → 地震時の柱の軸力(引力)の変動は、内柱より外柱のほうが大きい
3. 上下階で連続していても耐力壁 → 耐力壁を支える柱の耐力や床スラブの面内剛性の確保など、力の流れを考慮して設計により耐力壁とすることができる
4. 連層耐力壁の位置 → 基礎の浮き上がりに対する抵抗力を高めるために中央スパン部分に配置することができる

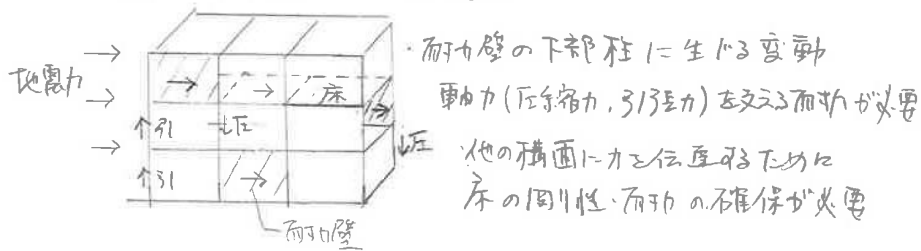
1. RC造の腰壁、とび壁付構面の脆性破壊



2. 外柱と内柱の軸力変動



3. 上下階で連続していても耐力壁



4. 連層耐力壁の位置

